

平和願い、川口市民ら合唱

22日コンサート「ぞうれっしゃ」組曲披露



本番に向け、練習に励む団員ら（4月13日、川口市で）

平和への願いを込めた合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」を川口市民らが歌うコンサート「いのちと平和と子どもたち」が22日、

埼玉会館（さいたま市浦和区）で開かれる。

1990年に結成された「川口ぞうれっしゃ合唱団」が主催し、今年で16回目の

開催。同団はコンサートのたびにメンバーを募集しており、今回は2歳から90歳代までの約160人が集まった。

戦時中、名古屋市の東山動物園で園長らが体を張って2頭のゾウを守った。戦争が終わり、「ゾウを見た」という子どもたちを乗せた臨時列車が運行された。この実話を基にしたのが組曲「ぞうれっしゃがやってきた」で、歌にセリフを交えて、さまざまな場面が再現される。

開演は午後5時。チケットは1500円。代表の荒木紀理子さん（70）は「世界ではいまだ戦禍で命を落とす人が絶えない。私たちはこれから戦争のない平和で穏やかな日常が続くことを願い、祈りを込めてこの歌を届けたい」としている。詳しくは同団のホームページ（<https://kawaguchiizou.sakura.ne.jp/>）へ。